

博物館からのお知らせ

博物館講座

10/5 土 みやぎきの神楽を学ぼう

宮崎県に伝わる神楽について、その歴史や特色について学びます。

時 間 13:30～15:00
対 象 一般
場 所 研修室1
募集期間 事前申込みなし
定 員 40名



11/10 日 西都原古墳群の前期古墳を中から観察しよう

西都原古墳群の前期古墳である13号墳を中から、他の古墳を外から観察して、巨大古墳である男狭穂塚・女狭穂塚古墳出現前後の古墳群形成の歴史やヤマト王権との関係について学びます。

時 間 10:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 西都原古墳群(西都市)
募集期間 10/13(日)～10/27(日)
定 員 30名



11/24 日 これからはじめるバードウォッチング

初心者のための野鳥観察講座。神宮の森で野鳥観察の仕方を学びます。

時 間 10:00～12:00
対 象 幼児以上
場 所 研修室1・神宮の森
募集期間 10/27(日)～11/10(日)
定 員 20名



10/26 土 宮崎の歴史を学ぶ2

資料を読み解き、戦国武将・島津義弘の活躍を学びます。

時 間 10:30～12:00
対 象 一般
場 所 研修室1
募集期間 事前申込みなし
定 員 40名



11/17 日 はじめての草木染め

下地処理から染色まですべての工程を体験的に学ぶ初心者向けの草木染め講座です。やさしい自然の色と模様で自分だけのオリジナルグッズを作ります。

時 間 10:00～15:00
対 象 小学生以上
場 所 研修室2
募集期間 10/20(日)～11/3(日)
定 員 20名



11/30 土 佐土原人形絵付け体験

県の伝統的工芸品である佐土原人形の絵付け体験をします。

時 間 13:00～15:30
対 象 小学生以上
場 所 研修室1
募集期間 11/2(土)～11/16(土)
定 員 20名



10/27 日 南郷・祇園崎の海岸地形と地層を観察しよう

祇園崎の海岸の岩場を歩きながら、地形や地質の成り立ちなどを学習します。 ※健脚向きです。(小学生は保護者同伴)

時 間 13:00～15:00
対 象 小学生以上
場 所 祇園崎(日南市)
募集期間 9/29(日)～10/13(日)
定 員 20名



11/23 土 丹助岳に登って環状岩脈を観察しよう

丹助岳は、環状に貫入したマグマが冷えて固まった環状岩脈の一部です。登山を楽しみながら、約1500万年前のマグマの活動について学習します。 ※健脚向きです。(小学生は保護者同伴)

時 間 10:00～12:00
対 象 小学生以上
場 所 丹助岳(日之影町)
募集期間 10/26(土)～11/9(土)
定 員 20名



2/9 日 石みがきをしよう～化石編～

化石片を含んだこぶし大の石をみがいて、化石の断面を観察します。

時 間 13:30～15:30
対 象 小学生以上
場 所 研修室2
募集期間 1/12(日)～1/26(日)
定 員 24名



講座の申込みは、次の方法で受け付けます。詳細は、博物館にお問合せください。

- ①はがき
- ②FAX
- ③ホームページ
- ④来館時に総合案内

お問い合わせ

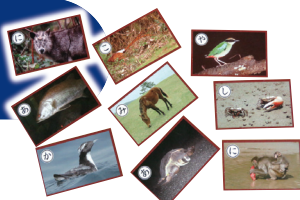
TEL 0985-24-2071
FAX 0985-24-2199

展示解説員の声

いきものカルタ

いきものカルタは、宮崎で見ることでできる動物や植物の写真を用いたカルタです。普通のカルタと違い、文章の最初の文字だけでなく途中で対象物が出てくこともあり、カルタをしている間ドキドキしてひと味違ったカルタを楽しむことができます。宮崎の動植物に詳しくなれるととても優れたカルタです。

博物館では、総合案内と2階ロビーに実物を置いており、いつでも自由に手に取ることができます。販売もしておりますので、ご家庭でいきものカルタを楽しむこともできます。ご来館の際は是非ごらんになってください。(川畑)



観覧時間・休館日のお知らせ

観覧時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 毎週火曜日

★12/28(土)～1/4(土)は、年末年始のため休館します。

博物館のホームページにはイベント情報、寄せられた質問とその答え、過去の「森の通信」、Facebook、ツイッター、Instagramなどの情報が盛りだくさんです。ぜひアクセスしてみてください。

みやはく

検索

森の通信

第67号



自然と歴史の大発見
宮崎県総合博物館
Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2019年9月6日

発行 / 宮 崎 県 総 合 博 物 館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL (0985)24-2071
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ FAX (0985)24-2199

アカメガネトリバネアゲハ
木造阿彌陀如来坐像
三葉虫(左:ネオアサフス/右:イレヌス)

特選!
蔵出し展
くらだし

祖母・傾・大崩
ユネスコエコパーク

～ミュージアムコレクション2019～

観覧無料

総合博物館がこれまで収蔵してきた約14万点を超える資料の中から、動物・植物・地質・考古・歴史・民俗のそれぞれの部門の寄贈資料や収蔵資料などを厳選して展示します。また、総合展示として「祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク」の自然も紹介します。

※11月13日(水)より、一部資料の展示替えを行います。

令和元年10/19(土)～12/8(日)

休 館 日 毎週火曜日(10月22日を除く)、10月23日(水)
宮崎県総合博物館 2階 特別展示室

後援: 朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、宮崎日日新聞社、夕刊デیلیー新聞社、NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、MCN宮崎ケーブルテレビ、ケーブルメディアワイワイ、BTV株式会社



「現代の名工」の竹細工



高千穂町岩戸土壺(レプリカ)



ニオウシマシ(レプリカ)



イベント

講演会1 「祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの自然」

日時:10月26日(土)13:30～15:00
講師:宮崎大学名誉教授 岩本俊孝氏
定員:50名 ※要電話申込み 10月2日(水)～ 場所:研修室1
内容:ユネスコエコパークに登録された祖母・傾・大崩山系の登録エリアに見られる動植物や地質的な特徴などを紹介します。



講演会2 「九州のミツバツツジ類」

日時:11月16日(土)13:30～15:00
講師:元宮崎県総合博物館副館長 南谷忠志氏
定員:50名 ※要電話申込み 10月2日(水)～ 場所:研修室1
内容:宮崎県はミツバツツジ王国で、ミツバツツジ類の多様性は日本一です。それらの見分け方や2018年に新しく発表されたイワミツバツツジやシシガワミツバツツジのほか、九州に分布するミツバツツジ類を紹介します。



関連講座「わかしの草花あそび」

日時:10月19日(土)10:00～12:00
講師:本館学芸員、民家園ボランティア
定員:なし (申込み不要) 場所:民家園(椎葉の民家)
内容:民家園で子供たちを対象に草花を使ったいろいろな昔のあそびを体験します。



関連講座「カルイ製作実演見学会」

日時:11月9日(土)13:00～16:00
講師:日之影の竹細工職人 小川鉄平氏
定員:なし (申込み不要)
場所:エントランスホール
内容:竹細工(カルイ)の製作過程について、竹細工職人の小川鉄平さんの解説を聞きながら作業の様子を見学します。



屋外イベント「植物素材アートの世界」

期間:10月25日(金)～11月4日(月)
作品展示:鬼塚良昭氏
場所:民家園(椎葉の民家)
内容:材料のほとんどが樹木や草、竹などで作られている民家園の屋内外で、植物の素材の特徴を生かして制作された芸術作品約50点を展示します。



学芸員によるギャラリートーク

毎週日曜日
午後1時30分～午後2時30分

- 触れる体験資料・パズルコーナー
- 来場者先着100名に蔵出し展キャラクターもしくは祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの缶バッジをプレゼント(土日祝日限定)
- クイズスタンプラリー
- SNSコーナー(博物館のかぶりものをかぶって、ジャイアントモアと写真を撮ろう!)

講座紹介

宮崎の歴史を学ぶ

宮崎の歴史について史料を解説しながら学ぶことができる講座「宮崎の歴史を学ぶ」を、毎年開催しています。講師は、中世・近世の歴史を専門とする研究者を招いています。そのため、宮崎県の中世史・近世史を詳しく学ぶことができます。

本年度の第1回は、6月15日(土)に宮崎大学の関周一教授を講師に招き、南北朝時代の日向国と伊東氏について話をいただきました。本館所蔵の「郡司文書」や寄託史料の「土持文書」を読み解きながら、中世日向国の武士たちの動向について講義していただきました。第2回は10月26日(土)に「宮崎の歴史を学ぶ2」を予定しており、都城島津邸の山下真一館長に近世をテーマにした話をいただきます。事前申込み不要です。当日は入場整理券を配布します。たくさんの方に宮崎の歴史を深く学んでいただきたいと思います。(杣木・平松)



きたく

宮崎の自然情報

幸島のニホンザル

宮崎県串間市には、国の天然記念物に指定されている「幸島」という周囲3.5kmほどの無人島があります。この島には野生のニホンザルが100頭以上生息しています。これらのサルは、「芋洗い行動」をすることで世界的に有名です。1953年頃、一頭の子ザルが餌付けで与えたサツマイモに付いている土を落とすために、砂浜を流れる小川でイモを洗ってから食べるようになりました。この行動は他のサルにも徐々に見られるようになり、さらには子や孫が受け継いで島全体に広まっていきました。従来、「文化は人間固有のものであり、動物にはない」と考えられていましたが、世代を超えて受け継がれる「芋洗い行動」は、ニホンザルが文化を持つ事を示す根拠の一つとなりました。現在では「芋洗い行動」の他にも「麦洗い行動」や「水泳」など、他のサルに伝わった行動がいくつか確認されています。

このように、独自の文化を持つ貴重なサル達を間近で観察できる幸島。この島へは、石波海岸から渡し船を利用して訪れる事ができます。また、サル達を確実に見学するには、午前中(10時頃)に訪れるのが良いと思います。(竹下)



歴史展示の紹介

花びら形住居の間取り

歴史展示室(考古部門)の中央部西壁には花びら形住居(弥生時代中期)の原寸大の復元家屋模型を展示しており、5人家族の生活の一場面を見ることができます。

花びら形住居は宮崎県と鹿児島県の南九州を中心に分布する弥生時代の住居で、弥生時代中期(今から2,100年前)から古墳時代初め(1,700年前)まで作られました。上から見ると全国に普遍的な円形や方形ではなく、花びらの形をしています。地表面から円形に^{たてあな}竪穴を掘り、柱の穴の位置を決めた後に、柱の後ろを壁として掘り残しながら柱と柱の間を外に一段高く掘り広げた結果、花びらの形になったと推定されます。花びらの形の小さな部屋は何に使われたのでしょうか。土器や食べ物を置く物置、石器を作る作業場、寝るベッドなどの間仕切りされた空間です。(長津)



収蔵資料紹介

3Dプリンターで作製した拡大模型



「♪ Donguri Korokoro ~ ♪」大人からこどもまで大人気の“Donguri”。ブナ科の樹木につく堅果(かたい実)を“Donguri”といい、宮崎では約20種類が確認されています。写真の巨大なDonguriは、博物館と県工業技術センターが2年前に共同研究で作った拡大模型です。X線CTスキャンという装置を使って約3cmの高さのDonguriの形を正確に読み取り、3Dプリンターで立体模型として10倍にあたる最大で高さ約30cmのDonguriを作りました。小さなDonguriを拡大することで、形のちがいや特徴もわかりやすく観察できるようになりました。また、同じ方法で作った昆虫頭部の拡大模型は、実物よりも大きく丈夫なため「触れる資料」として活用しています。(岩切)

利用者からの問合せ

続 隕石を見つけた!?

※「隕石を見つけた!？」(『森の通信』第55号、2014年)も参照ください。

隕石ですか?と博物館へ持ち込まれるもので最も多いのは、鉾山から出た「鉾滓(スラグ)」です。天然の鉾石を高温で融かして金属を取り出すときに、不純物を多く含む上澄みを取り除きます。これが鉾滓で、金属が含まれるため重く、一度融けて固まっているため表面がいびつで気泡が多く奇妙な形に見えます。

県北部には旧鉾山が多く、特に旧^{まきみね}榎峰鉾山周辺の五ヶ瀬川などでは川原の石に混じって鉾滓が見つかります。また、宮崎市南部の加江田^{かえだ}溪谷周辺では製鉄くず(鉄滓)が見つかることがあります。旧^{おび}飫肥藩時代の製鉄を裏付ける石碑が家一郷で見つ^{ひらべきやうなん}かっているほか、『日向地誌』(平部^{かえだ}嶺南 著)には^{かいちごう}鵜戸山地の内海や宮之浦の鉄山の記録があります。鉄滓の奇妙な見かけとわずかに磁石を引きつける性質は、鉄隕石を連想させるかもしれません。(濱田)



五ヶ瀬川の川原で見つかった鉾滓
(いずれも最大幅3~4cm)